

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和6年9月20日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・前月と比較して、貝肉の状態は若干の回復傾向が見られましたが、北部と南部海域では、貝柱のグリコーゲン含量が健康度の指標となる3%を下回りました。
- ・昨年の同時期に比較して出現率は低いものの、真珠層の褐変個体が確認されました。
- ・今月に入り、水温は平年を上回る海況が続いています。
- ・真珠層の褐変など、ウイルス感染症状の見られる個体は少ないものの、栄養の蓄積状態が十分ではなく、産卵後の衰弱の影響が出やすい時期のため、引続き貝の管理に注意願います。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁 場 ^{*1}	貝 の 種 類 (R 5 産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北 部	日中交雑貝 ^{*2}	2.7 (6.5)	-0.5 (0.0)	0	0% (5)
中 部①	日中交雑貝	3.5 (5.7)	-0.3 (0.3)	0	5% (30)
中 部②	日中交雑貝	3.2 (5.4)	-2.1 (1.4)	0	0% (0)
南 部	日中交雑貝	2.2 (6.7)	0.0 (1.1)	0	0% (0)
平均値		2.9 (6.1)	-0.7 (0.7)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- ・5月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%)：アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値：閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。

「アコヤガイ飼育管理の手引」公開中

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/111520.pdf>